

◆戸別収集・有料化説明会 Q&A

平成 26 年 2 月 2 日（日）午後 6 時 30 分から午後 8 時 場所 生涯学習センター
参加者 156 名

- 1 市のごみ処理体制の考え方
- 2 意見公募（パブリックコメント）の結果
- 3 有料化の具体的な内容
- 4 質疑

Q 個人的には賛成ですが、今回の説明を聞いていると有料化ありきに聞こえてくるのですが、今日参加した皆さんの意見を聞いてから決めるのですか。

A 去年の 6 月から 9 月の説明会を通し、戸別収集・有料化同時実施という説明を市民の皆様にしてまいりました。また、10 月にはパブリックコメントを実施し、その中で頂いたご意見を整理しました。

戸別収集については、ご理解を得られていない部分がありましたが、ごみの減量は喫緊の課題であり、有料化を先行して実施させていただくことが必要であると判断しました。

Q 有料化を先行した場合、戸別収集をするとしたら、いつ頃を予定しているのですか。

A 有料化を先行実施させて頂いた場合に、ごみの組成調査等を含め約半年間の検証等を行う期間が必要だと考えています。その後、市民の皆様に検証結果等を説明をしていくことになると思います。

Q 減免処置の中で、自治町内会で公道等の清掃活動をしています、発生したごみはどのような袋で何処に出せばいいのでしょうか。

A 戸別収集の場合は、レジ袋等に清掃ごみ等と明記し、各家庭の前に出していただく予定で考えていました。クリーンステーションに出す事になると、出した方が不明になる等の問題点があり、他市の状況等を踏まえ検討させて頂いてます。決まり次第皆様にお知らせをしていきたいと考えています。

Q パブリックコメントの 141 件の数字で賛成・反対の意見の説明があったと思いますが、市のホームページで公表されている数字を調べると、賛成・反対の意見の数が 114 件にかなりません。141 件の数字は全体の応募総数であり、説明と違うのではないのでしょうか。

A 合計応募件数は 141 件で、その他の意見については除外しています。戸別収集については 117 件、有料化については 114 件の意見として集計をしています。

Q 市民に理解を得られていない部分があるとの説明がありましたが、その事について、市の廃棄物減量化及び資源化推進審議会の中で委員の一人の方が、反対する市民は 10 名もないから強行しなさいといった事を耳にしました。また、市長選で戸別収集・有料化を反対ということだけで、2 万票を超える市民の票が集まったことと、市民を代表する議員が 9 月議会で「家庭系ごみの戸別収集・有料化全市実施の計画を見合わせることを求めることに関する決議」を可決しました。この民意の声に対して、無視は出来ないと思うがどの様に捉えるのか。有料化をすることは、税の二重取りであることは間違いないことである。これらに対しての考えを聞きたい。

A 実際に選挙戦を行う中で様々な意見を聞いてきましたが、結果的には再選をさせていただきました。民意としての捉え方であれば強調をしたいところですが、「戸別収集・有料化には反対だけでも」と言われたことも事実です。しかし、喫緊の課題であるごみの減量を

行わなければならない事は、市民の皆様には一定のご理解を得ていると考えております。様々な意見を総合的に分析し、有料化を先行していくという結論を出させていただきました。

Q 10年後に新焼却場を建設するという説明がありましたが、市長が再選される4年前にバイオマス施設建設を中止し、その間に新焼却場の整備計画を進めてこなかったのでしょうか。有料化を実施することで市民に負担を課し、ごみの減量をしようとするのは、市の無策に対するつけを市民に負わせようとしているのではないのでしょうか。

A 逗子市等との広域処理をしていく計画があったことから、鎌倉市が独自に焼却施設の計画等を進めることが出来ませんでした。しかしながら、広域でのごみ処理の実現が難しくなり、新焼却施設の構想から着手してきた状況です。

Q 戸別収集・有料化を同時に行うことで、約3,500トンのごみの減量が見込めるという説明が当初あったと思います。今回の説明では、有料化先行ということですが、ごみの減量効果が果たしてあるのか疑問です。また、戸別収集を行うコストが掛かるから有料化を同時に行い収集コストに充てると言ってきたが、戸別収集を止めて有料化の手数料収入を基金に充てるという話を今回初めて聞いたが、今までの説明と矛盾があるのではないのか。

A 戸別収集・有料化については、発生抑制とごみの分別ということを説明してきました。一度も戸別収集のコストに充てるために、有料化を行うといった説明をした記憶はありません。

Q 1キログラム当たり21円掛かると言うことですが、ごみを出した時に収集の方がその場で領収書をくれるのですか、ごみを出す場所は家の門の中ですか、留守の場合はどうすればいいのですか、アパートの方や高齢者の方はどうやってごみを出せばいいのわかりません。

A 説明がわかりにくく誤解を招いて申し訳ありません。1キログラム当たり21円に料金を上げる説明については、事業者に対することですので、一般家庭の方には一切関係ありません。例えば、40リットルの袋でごみ出しをすると、1リットル当たり2円の料金設定をさせて頂いてますので、1袋80円となります。ごみ袋の種類は、5リットル、10リットル、20リットル、40リットルの4種類になります。スーパーやコンビニ等で袋を購入していただき、クリーンステーションに出していただくことになりますので、出し方は今までと変わりません。また、袋を購入した際、購入されたお店からは、ご希望に応じて、領収書が出されると思います。

Q 現行で自宅の前がクリーンステーションですが、有料化で戸別収集ではなくクリーンステーション収集ということですが、有料袋でないごみ袋が捨てられたらどうするのですか。

A 不適切に出されたごみを調査をして、排出者が特定できた場合は直接指導したり、不法投棄が多いクリーンステーションの立ち番といったパトロールの強化等を考えています。また、他市の対策も参考にしながら、有料化が始まった直後については、特に不法投棄対策についてはしっかりと行っていきたいと考えています。

Q 個人の実感として、確かにパブリックコメントの意見は重要だと思いますが、周りの方の意見を聞きますと、ほとんどの人が戸別収集・有料化に反対をしています。そんな中で、140名程度の意見公募だけで市民全員の意見という判断を行い、有料化先行実施しますという説明は無理があると思います。

また、町内会の説明会で、藤沢市の事例を基に戸別収集・有料化を行うことでごみの減

量が出来るという説明がありましたが、鎌倉市はごみの分別が進んでいてこれ以上の減量につながるとは思えませんし、本日の説明会で他市の事例を出し、有料化で約 12 パーセントのごみの減量が見込まれるので進めていくということに疑問があります。再検討が必要ではないでしょうか。

- A 今回の説明会については 5 会場で行わせていただくのですが、今回の説明会だけで決めていくことではありません。去年の 6 月からの説明会や各自治・町内会での説明会、または、パブリックコメントの意見等からも、戸別収集・有料化に対して反対の意見もあります。しかし、反対だからと言ってごみの減量・資源化に繋がるしっかりとした手段が見い出せない中で、有料化を先行させていただき結論に至りました。

市民の皆様には一つ一つの疑問や不安に対して説明をして行かなければならないと思っています。

- Q 基本的には有料化に賛成ですが、燃やすごみの中の資源物の混入割合で、プラスチック類が 7 パーセントとの数字が表記されていますが、実感としてもっと混入されていると思うのですが、データ取りに疑問があります。要望ですが、紙類等の混入率を各地区ごとにデータ化した方がいいと思います。それと、学者の説明だけで 1 リットル 2 円と決めたのではないのでしょうか。

昨年 10 月の廃棄物減量化等推進員会合で 1 リットル 5 円等に上げればプラスチック等の資源物の混入率も減るだろうと意見を言いましたが、何処にも取りあげられていません。鎌倉市として独自の判断、意識を持って行えばいいのではないのでしょうか。危機感が無すぎると思います。

- A 危機感が足りないのご指摘については、反省も含め真摯に受け止めさせていただきます。1 リットル 2 円の設定は、全国の有料化をしている自治体や近隣の自治体の中でも、比較的高い方だと考えていますが、市民の皆様にご受け入れて頂ける金額を考慮し、設定させていただきました。

容器包装プラスチック等の混入割合については、重量での割合で約 7 パーセントと表記し、汚れていて資源化出来ないものは含まれていません。容積からするとご指摘の通り約半分となります。

- Q 指定袋以外で出されたごみは収集しない。パトロールを強化し対応します等の説明があったが、ごみを放置したままなのではないでしょうか。

- A 指定袋で出されなかった袋を放置したままではありません。指定袋以外で出された袋については、直ぐには収集しないで一定期間置き、調査や周知等を図らせて頂いた後、対応させていただくことを検討しています。

- Q 各市とのコスト比較の説明があったが、平塚市と比べて 1 人 1 日当たりの家庭ごみの排出量がほとんど変わらないのに、処理費が何故こんなに違うのですか。

- A 鎌倉市は最終処分場を持たずに焼却灰や燃えないごみの残渣について熔融固化処分していますが、平塚市は最終処分場を持っており埋め立てをしておりますので、ここに掛かる処理費の違いが比較的大きな要素として捉えています。

- Q 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量の中には、企業や飲食業等のごみが多く含まれていると思います。例えば、飲食業だったら保健所に認可してもらう時に（ごみの収集を依頼している業者との）契約書をつけるとか、税務署に申請する時も同様な事をすれば、かなりの家庭ごみが減ると思います。

また、選挙において確かに反対者は多数いましたが、市長は再選をしたのだからきちんと市政を進めてもらいたいと思います。

A 地域によってはクリーンステーションに出される家庭ごみの中に事業系のごみが出されていることは否定できません。戸別収集をすることで、ある程度特定出来るというメリットがありましたが、現時点では戸別収集を先送りするということで、提案された意見を参考に検討をさせていただきたいと思います。

Q 有料化にすることで、少しでも小さい袋に入れようとしてごみが減ることはある程度理解できますが、戸別収集によってごみが減ることが理解できません。どうしてごみが減るのでしょうか。戸別収集について他市の成功事例を言ってますが、鎌倉市独特の地形があり、狭い道等何処に車を止めるのでしょうか。また、戸宅の前にポリバケツ等を朝から置いたままにするのは防犯上良く無いことと、世界遺産の観点からも景観は非常に大事なことで、戸宅の前にポリバケツ等でごみを出させることに疑問を持ちますので、戸別収集については反対です。

A 狭い道路を含むモデル地区で去年の 10 月からの半年間戸別収集をして検証を行った際の質問で、ごみに対して約 6 割強の方がごみの減量を意識するようになったと回答しています。また、葉山町では戸別収集だけのモデル事業を行っており、ごみの減量効果があり全町へ進めていこうとしています。

なお、有料化については、お話し頂いたように経済的な動機付けが大きな要素であると認識しています。

Q 観光ごみ、事業系ごみはどの位排出されるのですか。

A 観光客のごみについては、持ち帰っていただくのが原則ですが、拠点回収箱として分別式のごみ容器を市内の鎌倉駅や大船駅等に 7 カ所置いてあります。観光客のごみとして年間約 70 トンを処理しています。

また、観光客が店で飲食等をして出したごみは事業系ごみとして扱っています。ごみ量は年間約 1 万 3,000 トンとなります。ごみ焼却量の推移の中で説明しましたが、徐々に減ってきて現在は約 1 万 1,000 トン位になっています。

Q 事業系ごみ処理が安い方にくるとの説明がありましたが、それは事実なのですか。

A ごみの証拠などを示せて言えることではありません。事業者の話を聞く限りでは、安い方に流れる可能性は否定出来ません。

【ご意見】

- ・ 今行っているモデル地区の戸別収集を見ていると、収集の方が大変な思いをして仕事をしている様に感じます。戸別収集を全市で行った場合に、業者は今の収集に係る金額でなく必ず料金の値上げを要求してきます。それに伴って、指定袋の料金値上げがされることが確かなことですし、世界遺産登録に掛った約 5 億円の金も結局無駄になってしまいました。今後、市民の負担が増える戸別収集・有料化は止めるべきだと考えます。
- ・ 私自身、他市からの転入者ですが鎌倉市民の分別意識の高さに驚かされています。今回の説明会を聞いて、生ごみ処理機を購入しなければいけないと感じました。また、生ごみ処理機の普及率も低いと聞いてます。日々の市民への PR を重ねる事が大事だと思います。努力もしないままに、戸別収集をすることは反対です。

